日本発達障害学会第59回研究大会　ポスター発表採択結果

2024年9月13日版

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2024年10月5日（土） 13:00~14:00	ポスター発表①	P1-1	中山　忠政	わが国では、通う学校を「選ぶ」ことができるのか？	～建設的対話における、わが国の回答の検討～
		P1-2	岡田　信吾	モンゴル国におけるインクルーシブ教育の現状と課題	
		P1-3	尾川　周平	自閉スペクトラム症者の自己価値の随伴性・源泉の充足感と自尊感情の関連	
		P1-4	前野　明子	経験知と専門知の相乗効果による発達障害児の親支援プログラム	ーグループワークの評価と継続参加者のメンタルヘルスへの影響に注目してー
		P1-5	村岡　美幸	強度行動障害支援の広域的支援人材の養成に関する研究	中核的人材養成研修のディレクター及びトレーナーヒアリングを通して
		P1-6	岡本　邦広	管理職が捉えた過疎地域にある小・中学校の校内支援体制の課題	通常の学級における発達障害等の特別な教育的支援を必要とする児童生徒を対象にして
		P1-7	河田　恵子	通常の学級における発達障害等の特別な教育的支援が必要な児童生徒の実態調査	
		P1-9	岡田　裕樹	サービス管理責任者等研修の新研修体系に関する現状把握のための研究	都道府県を対象としたアンケート調査及びヒアリング調査より
		P1-10	松本　恵	自閉スペクトラム症の過集中と適応行動の検討	
		P1-11	宮田　賢吾	特別支援学校における激しい行動問題を示す自閉症スペクトラム障害生徒への支援	－行動記録と支援会議による担任の支援行動の変容－
		P1-12	岩崎　あすみ	発達障害者の職場定着と自己理解の関連性	就労支援者への面接調査から
		P1-13	内田　佳那	LDのある中学生とともに考えたテスト・アコモデーションの実現	音声読み上げ機器の利用有無の比較を通した自己理解支援
		P1-14	松山　郁夫	知的障害特別支援学校の児童生徒への教育に対する教員の見方	
		P1-15	東俣　淳子	障がいのある子どもが利用する障害児通所支援事業所で働く専門職種の実態調査	
		P1-16	内山　聡至	教育分野における強度行動障害支援者養成研修の活用に関する調査	
		P1-17	伊藤　優	自閉症スペクトラム障害やその疑いのある幼児の偏食改善	
		P1-18	三浦　巧也	発達障害に起因した困難さがある大学生を対象にしたケース・メソッド＆ロール・プレイング教育の有効性	性の同意不同意の意思決定を促す協働学習の試験的研究
		P1-19	佐々木　理一郎	成人期境界知能群の適応行動と生活状況	～知的障害者更生相談所の相談者の分析から～
		P1-20	矢萩　未来	アフィリエイトスティグマ尺度日本語版（発達障害児養育者Ver）の 信頼性について	
		P1-21	山野　真梨紗	義務教育終了後における知的障害のある生徒の 「知的障害教育の場」離れと自治体の高校教育政策との関連	
		P1-22	脇坂　茉里	学習空白のある発達障害の児童生徒を支える学校外ネットワーク構築の試み	学習支援ボランティアの人材育成の視点から

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2024年10月5日（土） 15:00~16:00	ポスター発表②	P2-1	遠藤　汐莉	学生ボランティアの学び	学習空白のある発達障害の児童生徒に対する学習支援を通して
		P2-2	瀬崎　由佳	ペアレント・トレーニングのファシリテーター養成の試みーファシリテーターの行動指針と具体的行動リストの作成ー	
		P2-3	草野　知美	ASDのある子どもをもつ母親を看護する際に使用する アセスメントツールの活用	
		P2-4	今枝　史雄	特別支援学校における教科別の指導の学習計画書(シラバス)作成の課題	－大阪府立支援学校へのアンケート調査を通して－
		P2-5	刀禰　豊	視覚障害教育におけるキャリア発達を目指す長期的な観点での支援の方向性	拡張されたコアカリキュラムを在学中から卒業後までを見通した視覚障害教育の支援に生かすために
		P2-6	徳田　朋子	子どもが主体的に取り組む自立活動を行うために子どもの「よさ」の活用場面を明らかにした自立活動の指導	
		P2-7	兒玉　妙子	発達に気がかりのある幼児を作業療法の視点で理解する	初回評価の記録から
		P2-8	鈴木　徹	ある障害福祉サービス事業所に通う利用者と職員に対する関係支援の経過報告	
		P2-9	杉本　圭	手書き課題の定量的評価を用いた機会学習による書字障害の識別の有用性：スコーピングレビュー	
		P2-10	本宮　久仁彦	知的障害特別支援学校中学部における理科の指導	ルーブリックとチェックリストを用いた効果的な評価方法の開発
		P2-11	森地　徹	地域移行支援において地域移行を達成しうる 要因の具体化に関する研究	
		P2-12	今村　幸子	応用行動分析の習得知識の測定に関する研究３	新KBPACⅡの開発・選択肢の検討
		P2-13	野田　遥	包括的神経発達症特性質問紙の妥当性・信頼性に関する研究	
		P2-14	縄岡　咲子	ペアレント・トレーニング実施者養成研修の効果	初めての実施から効果的に取り組みやすい工夫の検証
		P2-15	山元　薫	知的障害者を対象とした生涯学習における オンデマンドラーニング教材の開発	「大学で学ぼう」「特例子会社」「特別支援学校高等部」でのオンデマンドラーニングの効果
		P2-16	金城　尚義	知的障害のある生徒の文字学習におけるICT 機器活用の効果	課題従事と自立課題の促進に向けて
		P2-17	市居　哲	仙台市における成人期の行動障害のある方に関する地域支援システムの考察	
		P2-18	大槻　毬萌	発達障害者におけるセルフ・コンパッション研究の動向	
		P2-19	原田　美奈	仙台市における成人期発達障害者への支援体制	大学から就労への移行支援の充実に向けて～
		P2-20	野崎　義和	特別支援学校におけるレット症候群児に対する指導上の困難と工夫について	
		P2-21	下地　恭子	気になる子と親への支援に向けての手掛かり	ーキュービックを使用して②ー
		P2-22	知名　青子	大学等における発達障害学生への就労支援 の現状と課題	大学と就労支援機関との効果的な連携を形成する要素の検討

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2024年10月6日（日） 10:30~11:30	ポスター発表③	P3-1	李　月	全国のCOMPASS発達支援センターにおける家庭連携数の年間変化に関する調査	
		P3-2	延原　稚枝	グループホーム事業所が入居者同士のカップル生活,育児を認められない理由の検討	－北海道庁による実態調査結果の自由記述を手がかりに－
		P3-3	日隈　利香	大震災被災４県（岩手県、宮城県、福島県、熊本県）の児童発達支援・放課後デイサービス施設における災害の備えに関する研究	
		P3-4	松井　剛太	特別な配慮を必要とする子どもの居場所づくりに関する研究	
		P3-5	名川　勝	社会福祉事業所勤務者等に対する「日本版リスクのとらえ直し研修」の効果検証	
		P3-6	成川　敦子	知的障害・発達障害のある青年の社会的トラブルに向けた KeepSafeプログラムを取り入れた授業の効果	ー学校で取り組む社会的トラブル予防教育ー
		P3-7	岡　あゆみ	ペアレント・メンターの経験談に対するアンケート分析から考える 大阪府ペアレント・メンター事業の意義	
		P3-8	米澤　巧美	強度行動障害を呈する ASD 者に対するコーチングを用いた 集中的支援の一事例	重度訪問介護を用いた一人暮らしの生活実態
		P3-9	杉本　明生	子育て支援における知的障害を伴う自閉スペクトラム症幼児の親子通園の意義を再考する研究	
		P3-10	桑野　良三	Down Syndrome Regression Disorder (DSRD)の 回復例について	
		P3-11	五十嵐　一徳	発達障害傾向のある大学生に対する修学支援を考える	時間管理への支援を通して
		P3-12	田中　杏花	“五月雨登校”の状態にある中学生が抱く学校生活に対する価値観に関する実態調査	―学校不適応や不登校支援のための基礎的検討―
		P3-13	佐藤　大記	精神疾患のある生徒の自己肯定感を高めるための支援の検討	PATH や TEM 図等の活用による対話を重視した実践を踏まえて
		P3-14	岡本　茉桜	小学校1年生の1学期における学校適応と行動・情緒面の支援ニーズに関する調査	
		P3-15	松下　泰将	知的障害である児童生徒への掃除指導に関する学習指導要領の分析	
		P3-16	長壽　厚志	知的障害者による支援者評価に関する研究	知的障害者は支援者を評価することができるのか
		P3-17	Nguyen　Minh	鈴木ビネー知能検査の検査項目の構成とアセスメント機能について	
		P3-18	守屋　仁香	諸外国の教育関係者から見た日本のインクルーシブ教育の特徴	
		P3-19	日髙　優	自閉スペクトラム症児者に対する態度研究の動向	
		P3-20	菅　達也	大学における発達障害学生の支援について（Ⅰ）	自閉症スペクトラム（広汎性発達障害）学生の入学から卒業に向けて
		P3-21	藤田　知也	反抗的行動と攻撃行動に対する ペアレント・マネジメント・トレーニングの効果	ADHD 男児の保護者に対する個別プログラム適用
		P3-22	吉兼　伸子	発達障害傾向のある看護学生に望まれるマナーについて	一次的社会化の視点を中心として

日本発達障害学会第59回研究大会　ポスター発表採択結果

2024年9月13日版

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2024年10月6日（日） 13:00~14:00	ポスター発表④	P4-1	佐藤　勝典	発達障害者のライフプランニング	-発達障害起業家A君の事例-
		P4-2	小笠原　忍	発達障害児の手洗い行動に対するオンライン保育の効果	
		P4-3	宮野　雄太	特別支援学級の教員チームワークを向上させる手立てにはどのようなものがあるか？	特別支援学級の教員を対象にしたWeb面接調査の結果に対する予備的検討
		P4-4	熊谷　亮	知的障害特別支援学校における偏食指導の実施内容に関する調査研究	障害種や偏食の原因による指導方法の違いに着目して
		P4-5	外岡　資朗	鹿児島県の発達障がい児支援体制作り	
		P4-6	山口　明乙香	障害のある生徒の就労定着状況評価尺度の開発に関する研究	_進路指導担当教員の評価視点の分析から-
		P4-7	古村　真帆	授業ルールから逸脱する児童に対して小学生が考える解決策	自由記述の分析より
		P4-8	細川　かおり	インクルーシブ保育における仲間との情動共有と保育者の支援	接面の形成を手がかりにして
		P4-9	小林　和佳	知的障害児の発達特徴に関する予備的検討	適応行動と言語発達に焦点を当てて
		P4-10	村上　渉	子ども一人ひとりの特性や実態に合わせた情報教育の充実のためのアセスメントの作成と活用	
		P4-11	立松　英子	意思決定支援に向けた自立活動の視点の導入	放課後等デイサービスにおける職員の専門性向上に向けた取り組みから
		P4-12	黒田　真帆	発達障害のある男子中高生の対人関係や場所における居場所感に関する研究	
		P4-13	山口　遼	知的障害児の書字（名前記入）に関する課題遂行の特徴	各精神年齢（MA）における取組状況に基づく検討
		P4-14	長江　清和	『光とともに・・・』を教職課程の教材とするための一考察	特別支援学校教諭免許状コアカリキュラムを踏まえて
		P4-15	川上　雅司	知的障害者による支援者評価に関する研究	知的障害者の障害程度、質問への回答状況と日常行動能力の関係について
		P4-16	鯛　海音	知的障害者を対象とした感情認識研究の動向	
		P4-17	佐野　昌子	特別支援学校における外部専門家活用に関する調査報告	
		P4-18	山口　有香	特別な支援を要する幼児を取り巻く現状と課題 〜保護者へのアンケート調査から見えてきたもの〜	
		P4-19	春木　美紀	特別支援学校高等部における男子および女子生徒の性問題行動支援に向けたKeep Safe プログラムの実践とその効果	
		P4-20	赤塚　めぐみ	5歳児におけるひらがな読みの成績推移とその背景要因	
		P4-21	服部　陽介	自閉症スペクトラムと感情推測におけるバイアスの関係	妬み感情を喚起するシナリオを用いた自己・他者の感情推測に関する研究
		P4-22	杉岡　千宏	援助要請スキルの獲得と 活用に関する一考察	